

# 安全データシート

作成 2008/06/06

改訂 2023/04/01

製品名：BY・FAR Z-MV

## 1. 製品及び会社情報

製品名：BY・FAR Z-MV

会社名：グローブイーピー株式会社

住所：〒963-0215 福島県郡山市待池台1丁目55-58

TEL.024-983-3748 FAX.024-959-5051

担当者：黒沢 教大

緊急連絡電話番号：同上

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 物理化学的危険性

火薬類：区分に該当しない

可燃性ガス：区分に該当しない

可燃性または引火性の高いエアゾール：区分に該当しない

酸化性ガス：区分に該当しない

高圧ガス：区分に該当しない

引火性液体：区分に該当しない

可燃性固体：区分に該当しない

自己反応性化学品：区分に該当しない

自然発火性液体：区分に該当しない

自然発火性固体：区分に該当しない

自己発熱性化学品：区分に該当しない

水反応可燃性化学品：区分に該当しない

酸化性液体：区分に該当しない

酸化性固体：区分に該当しない

有機過酸化物：区分に該当しない

金属腐食性物質：区分に該当しない

#### 健康に対する有害性

急性毒性(経口)：区分に該当しない

急性毒性(経皮)：区分に該当しない

急性毒性(蒸気)：区分に該当しない

急性毒性(吸入：ミスト)：区分に該当しない

皮膚腐食性/刺激性：分類できない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：分類できない

呼吸器感作性：分類できない

皮膚感作性：分類できない

生殖細胞変異原性：分類できない

発がん性：分類できない

生殖毒性：分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：分類できない

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：分類できない

誤えん有害性：分類できない

#### 環境に対する有害性

水性環境有害性 短期(急性)：区分に該当しない

水性環境有害性 長期(慢性)：区分に該当しない

GHSラベル要素 : なし

注意喚起語 : なし

【最重要危険有害性】

人体に対する有害な影響 : 目に入ると低刺激  
環境影響 : 生分解性良好  
物理的及び化学的危険性 : 特になし  
化学物質等の分類 : 分類の基準に該当しない  
危険有害性情報 : 眼への刺激  
注意書き : 使用前に安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。  
保護手袋、保護眼鏡、保護面等の保護具を着用する事。

3. 組織、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物  
化学名又は一般名 : ポリオキシアルキレンアルキルエーテル  
ヤシ油脂脂肪酸ジェタノールアミド 1.5%  
食添エタノール(補助剤) 0.5%  
成分及び含有量 : 主剤 5.5%  
補助剤 食添エタノール 0.5%  
CAS No : 食添エタノール(64-17-5)  
化審法 : 食添エタノール(2-202)  
安衛法 : エタノール(政令番号:61)

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移動させ安静にさせる。  
目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、刺激がある場合は、医師の診察を受ける。  
皮膚に付着した場合 : 水又は温水で洗い落とす。皮膚に異常が出た場合は、必要に応じて医師の診察を受ける。  
飲み込んだ場合 : 水を多量に飲ませ、吐かせてから医師の診察を受ける。  
応急処置をする者の保護 : 救助者は可能な限り保護具(手袋、眼鏡等)を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤 : 指示はない。  
消火方法 : 不燃物である。周辺火災の場合、速やかに安全な場所に移す。  
使ってはならない消火剤 : 情報なし  
火災時の特有危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作業時には煙の吸入を避ける。  
消火を行なう者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 漏出時の処理を行う際には、必ず簡易マスク、ゴム手袋、長靴、保護メガネ等を着用すること。  
環境に対する注意事項 : 多量の場合は、河川への流出を防止する。  
封じ込め及び浄化の方法 : 少量の場合は、水で洗い流す。多量の場合は、空容器に出来るだけ回収し、ウエス等で拭き取った後、多量の水で洗い流す。

7. 取扱及び保管上の注意

取扱 : 簡易マスク、ゴム手袋、長靴、保護メガネ等の保護具を着用する。  
保管 : 直射日光下・30度以上の高温になる場所を避け密栓し、屋内に保管する。  
氷点下で凍結するので、冬期は凍結しない場所に保管する。  
一度開封された容器は、注ぎ口をきれいに拭き取り、完全密封して保管する。  
保管量 : 備蓄量の制限はない。  
保存期間 : 目安として1年間以内に使い切る。

---

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：特に設定なし  
管理濃度：設定なし  
許容濃度：設定なし  
日本産業衛生学会：設定なし  
ACGIH：設定なし  
保護具：必要に応じて簡易マスク、ゴム手袋、長靴、防護メガネ等を使用する。  
使用後は水洗浄すること。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### 【外観】

物理的状態：液体(常温)  
色：無色透明  
臭い：微かな薬品臭  
pH：7.0～7.3 (15°C)

### 【物理的状態が変化する温度】

沸点：100°C  
引火点：引火せず  
発火点：発火せず  
爆発限界：下限、上限とも設定なし  
比重：1.02 (25°C)  
粘度：5.1Pa・s (15°C)

### 【溶解性】

水：水溶性、軟水、硬水で性能不変  
その他の溶媒：設定なし

---

## 10. 安定性及び反応性

安定性：酸・アルカリに安定。他の洗剤、溶剤に可溶安定。  
反応性：特になし  
避けるべき条件：30度以上の場所に長時間放置しないこと。  
避けるべき物質：特になし  
危険有害分解生成物：特になし

---

## 11. 有害性情報

急性毒性：LC50 360mg/L ((財)日本食品分析センター Binominal法 サンプル魚ヒメダカ)  
皮膚腐食性・刺激性：データなし  
眼に対する重篤な損傷・刺激性：データなし  
呼吸器感受性又は皮膚感受性：データなし  
生殖細胞変異原性：データなし  
発がん性：データなし  
生殖毒性：データなし  
特定標的臓器・全身毒性 単回暴露：データなし  
特定標的臓器・全身毒性 反復暴露：データなし  
吸引性呼吸器有毒性：データなし

---

## 12. 環境影響情報

移動性：物理化学的性質からみて、水域・土壌環境に移動しうる。  
残留性/分解性：生分解度77%以上 (OECD化学物質テストガイドラインによるDOC法)  
魚毒性：LC50 360mg/L ((財)日本食品分析センター Binominal法 サンプル魚ヒメダカ)  
その他のデータ：データなし

---

## 13. 廃棄上の注意

：100倍以上の希釈処理の上廃棄。あるいは、産業廃棄物処理業者に委託。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を処理した後処分する。

---

#### 14. 輸送上の注意

国際規制：該当なし

国連分類：該当なし

国連番号：該当なし

輸送の特定の安全対策及び条件：「7. 取扱及び保管上の注意」の項の記載に従うこと。

運搬に際しては、容器から漏れない事を確かめ、転倒・落下・損傷などに注意して積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

海上輸送及び航空輸送：非危険物につき混載可。

---

#### 15. 適用法令

化審法：優先評価化学物質（法第2条第5項）

有機物（酸）とトリエタノールアミンの塩

ジェタノールアミン

トリエタノールアミン

N, N-ビス（2-ヒドロキシエチル）アルカンアミド（C=8, 10, 12, 14, 16, 18、直鎖型）、(Z)-N,

N-ビス（2-ヒドロキシエチル）オクタデカ-9-エンアミド又は（9Z, 12Z）-N, N-ビス（2-ヒドロ

キシエチル）オクタデカ-9, 12-ジエンアミド

2-アミノエタノール

労働安全衛生法：名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）

エタノール

毒物及び劇物取締法：非該当

化学物質排出把握管理促進法：第1種指定化学物質

（PRTR法）ジェタノールアミン（管理番号：626） 0.09%未満

N, N-ビス（2-ヒドロキシエチル）アルカンアミド（アルカンの構造が直鎖であり、かつ、当該

アルカンの炭素数が8、10、12、14、16又は18のもの及びその混合物に限る。）、(Z)-N,

N-ビス（2-ヒドロキシエチル）オクタデカ-9-エンアミド及び（9Z, 12Z）-N, N-ビス（ヒドロキ

シエチル）オクタデカ-9, 12-ジエンアミド並びにこれらの混合物（管理番号：707） 1%未満

2-アミノエタノール（管理番号：20） 0.01%

第2種指定化学物質

酢酸ベンジル（管理番号：482） 0.03%

消防法：非該当

---

#### 16. その他の情報

：本製品安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途・使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、SDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。